

## 2. 制度概要・背景

### 2.1 制度の状況

#### (1) 活動状況

米国環境保護庁（EPA）は、1992年から、地球温暖化ガス排出削減対策の一環として、エネルギー消費効率の高い製品の明確化と導入促進等を目的とした自主参加の省エネルギーラベル制度であるエネルギースタープログラム（以下、エネルギースター）を開始した。1996年から、EPAは米国エネルギー省（DOE）との協力により、互いに特定の品目機種に対して責任を持って、エネルギースターの運用を行っている。現在、エネルギースターの対象機種は、家電製品、消費者電子機器、オフィス機器、照明器具等に加え、住宅や商用建築物等にまで拡大している。

エネルギースターには、現在、7,000以上の民間企業及び公共機関が参加している。EPAは、消費者や事業者等に対してインターネットで、エネルギースターに関する制度、省エネルギー効率の高い製品、製品のエネルギー効率に関する技術的情報等、エネルギースターに関する幅広い情報を提供している。

#### (2) エネルギースターの実績・効果

表 2.1に、全米におけるエネルギースターの実績と効果を示す。

表 2.1 エネルギースターの実績・効果

実績・効果	内容
省エネルギー	<ul style="list-style-type: none"><li>・全米で年間 843 億 kWh の削減に成功（2001年現在）。これは一般家庭 1,000 万軒のエネルギー使用量に相当する。</li><li>・金額ベースでは、全米で年間 60 億ドル以上のエネルギーコストの節約に成功（2001年現在）。これが、米国における省エネルギー技術の幅広い利用の原動力となっている。</li></ul>
地球温暖化ガス削減	<ul style="list-style-type: none"><li>・全米でエネルギー需要が減少し、地球温暖化ガスの排出を炭素換算 19.7 百万 t 削減（2001年現在）。</li><li>・1,200 万台分の道路交通車両に相当する地球温暖化ガス削減を達成（2002年現在）。</li></ul>
適合機種の拡大	<ul style="list-style-type: none"><li>・38 の機種にまで適用を拡大（2003年2月現在）。</li><li>・適合製品は 13,000 種以上（2003年2月現在）。</li></ul>
エネルギースター適合製品の販売促進	<ul style="list-style-type: none"><li>・本プログラムの開始以来、7 億 5,000 万個のエネルギースター適合製品を販売（2003年2月現在）。</li><li>・エネルギースター適合製品は、2001年で、販売数 1 億 5,000 万。</li></ul>
パートナー*の増加	<ul style="list-style-type: none"><li>・1,200 以上の製造事業者（2003年2月現在）。</li><li>・400 以上の小売事業者（小売店舗 16,000 か所以上）（2003年2月現在）。</li><li>・160 の州政府及び電力事業者（2003年2月現在）。</li></ul>
消費者意識の向上	<ul style="list-style-type: none"><li>・全米で 40% の消費者がエネルギースターを認識し、そのうち 50% 以上については、エネルギースターロゴの有無が製品購入の決定に影響。</li></ul>

\* エネルギースターでは、EPA とプログラム参加の合意を締結した事業者や機関をパートナーと呼んでいる。